

急性期総合病院である当院では診療の質の向上をめざし 2024年4月に緩和ケア内科を新設しました



斗南病院
精神科科長
上村 恵一

診療内容は入院患者さんの精神症状への対応に特化する、コンサルテーション・リエゾンという多職種チーム診療を行っています。

緩和ケアチームにおいては、がん患者さんのすべてのステージに対応し早期からの緩和ケアの実践に取り組んでいます。がん治療を行う患者さんの伴走者として、患者さんが迷ったり、副作用に苦しんだり、病んだりしているときにすぐ側にいてサポートできる体制を準備しています。

精神科リエゾンチームでは、精神症状の予防、特にせん妄という身体症状の変化によって生じてしまった急激な混乱を予防するため入院前からあるいは直後からストレス緩和に努めるケアを提供しています。

倫理サポートチームは、自分で決めることが難しくなった患者さんに最適な医療が提供されるように、意思決定のお手伝いをするチームです。身寄りがまったく無い場合でも自分が決められるうちに患者さんの意向を聞き取りそれを反映させるアドバンス・ケア・プランニングという取り組みを院内すべての部署で取り組んでいます。